

「めざましクラシックスinとなみ」

「音楽の絵本クールブラス」

砺波市文化会館企画係 湯尾雅紀

砺波市文化会館では、さまざまな自主事業を企画しておりますが、今回は、10月、11月に開催いたします公演についてご案内いたします。

10月16日に開催いたしますのは「めざましクラシックスinとなみ」です。

皆様もよくご存じの、ヴァイオリニスト高嶋ちさ子さんと、フジテレビアナウンサー軽部真一さんがメインキャストを務める、あまり堅苦しきのない、カジュアルなクラシックコンサートです。毎年全国各地で公演され、富山県でも毎年のように公演していらっしゃいますが、ここ、砺波地域での開催は今回が初めてです。私も昨年、上市町の北アルプス文化センターでの公演を拝見しました。第一、第二ヴァイオリン、ビオラ、チェロ、ピアノが織りなすメロディーはとても心地よく響いていました。

高嶋さん持ち味のちょっときつめの小気味いいおしゃべりを軽部さんが上手にリードし、他の出演者も交えながら、音の解説や出演者エピソードなどを織り交ぜた楽しいトークのおかげもあって、クラシックにあまり明るくない私でも、その魅力を十分に感じる事ができました。

もちろん、オーケストラなどの本格的なクラシックも素晴らしいですが、今回は、ちょっとくだけた感じの笑いあふれるコンサートをぜひ楽しんでいただきたいと思います。さらに今回は、スペシャルゲストとして、三味線プレイヤーの上妻宏光さんも登場され、三味線とのコラボが非常に楽しみです。

そして、次は、11月19日に開催いたします「音楽の絵本クールブラス」です。こちらは希少動物が音楽を奏でるというもの。指揮者はオカピ。トランペットはインドライオン。トロンボーンはスマトラトラ。ピアノはうさぎ、サックスはきつねといったふうに演奏者はすべて動物たちなのです。

「絵本」とはどのようなことなのでしょう。例えば、子供たちに宮沢賢治の本を読み聞かせてもとても理解できるものではありませんが、宮沢賢治の絵本を読むとその世界に入りやすい。それは、絵で見ることによって、その世界を想像しやすくなるからです。そうすれば興味が出てきます。本の世界に入りやすくなります。それを音楽でできないかと考えられたのが、この「音楽の絵本」です。実際の絵本を音楽で表現するのではないのです。動物たちが演奏すると、子どもたちはまず目の前の風景に興味を持ちます。そして、その動物たちが音楽を演奏することにも興味を持ちます。そうすれば自然と音楽を聴く。音の世界に入っていく。それが「音楽の絵本」の世界です。

一流プロの舞台は、未就学児が入れないことが多いです。すると小さいお子さんをお持ちのお父さん、お母さんも来られないことがあります。たまにも、子どもを連れて、みんなで見に来られる、聴きに来られるものがあったらいいじゃないかと思い、この公演を企画しました。

今回の「音楽の絵本」は、ビッグバンドスタイル。本格的なクラシックから、ジャズやアニメに童謡まで、動物たちが奏でる音楽をぜひ楽しんでください。



軽部真一さんと高嶋ちさ子さん
photo: Munemitsu Sugihara

—編集後記—

猛暑も過ぎ、いよいよ芸術の秋。私は7月に続き、京都へフェルメールを観に行ってきました。昨今、フェルメール、レンブラントをはじめとする17世紀オランダ絵画が人気です。オランダといえばチューリップ。チューリップといえば砺波。いつか砺波市美術館で、黄金の17世紀オランダ絵画展が観られるといいですね。(M)